

共感できる大山町に

町長

情報共有が大切である



池田 幸恵 議員



毎月発行の広報だいせん

〔池田〕「10年プラン」の実現のために実施計画が毎年見直しされている。住民への事業内容や変更時の周知方法は。

〔町長〕広報やホームページなどを通じて行っている。

〔池田〕SNSでの情報発信はどうなっているか。

〔町長〕職員プロジェクトチームを昨年3回開催した。総務課広報室で取り組んでいる。

〔池田〕変更した場合、住民からの意見はどのように吸い上げているか。

〔町長〕住民の声を聞いて修正をしている。

〔池田〕機構改革が行われた際、議会も混乱があった。町長と職員との情報共有はどのようにされたか。

〔町長〕機構改革については職員も把握していると思う。担当の変更などで議会に十分な周知ができていなかった。

〔池田〕住民と同じ立場で共有することが大切ではないか。

〔町長〕情報共有は大切だと考える。

耕作放棄地に 太陽光発電の許可を

町長

農振地域は許可しない



野口 昌作 議員

〔野口〕耕作放棄地の状況は。

〔町長〕平成28年が87ha、平成30年が90haとなっている。

〔野口〕農業従事者の推移は。

〔町長〕平成17年が3631人。現在は推定約2000人である。

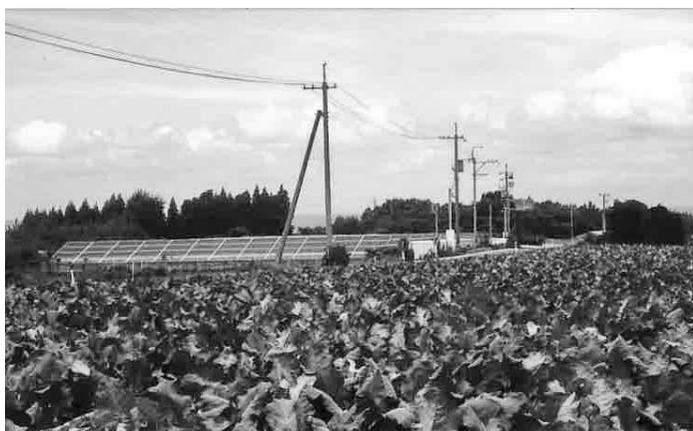
〔野口〕農振地域で太陽光発電を許可しないと決めた理由と年は。

〔町長〕平成27年に農

業を守るため決めている。

〔野口〕集団農地からはずれた耕作不便地で、現在耕作放棄されている土地は、今後利用されることはほとんどないと思う。このような土地に設備を許可しないか。

〔町長〕農用地区域の農地を設備用地と利用することは認めないよう定めているので、許可はしない。



畑の隣にある太陽光発電